

コロナに負けず探究活動始動

—オリエンテーション開催—

- ◇期 日 令和2年6月1日(月) 6時間目 探究科学科1年SS基幹探究
6月3日(水) 6時間目 探究科学科3年SS発展探究β
6月5日(金) 5時間目 探究科学科2年SS発展探究

◇場 所 本校至誠ホール

◇参加者 1・2年探究科学科生徒160名・3年理数科学科生徒56名・教科担当の先生方

6月1日の授業再開に合わせて、各学年の探究活動がようやく始まりました。

授業開始に先立ち、学年ごとにオリエンテーションが開催されました。

1年生探究科学科のオリエンテーションでは、総合的な人間力を備えた人材を育成するという探究科学科の目標や、SSH事業の意味や探究力を伸ばすための評価の話や探究ノートの使い方の説明を聴きました。また担当の先生の紹介や授業の概要の説明がありました。今年は新型コロナウイルス感染症流行のために7月の野外実習が中止になり、休校の影響で探究基礎Ⅰも例年のプログラムより1時間ずつ時間が短くなりますが、現在は「読み解く力」を伸ばすことを目標に、各教科で普段の授業とは異なった探究活動をしています。



2年生SS発展探究では、オリエンテーション時の話を聴いて、SSHの意味を再認識し、一層活動への意欲が出てきました。「探究力」を伸ばすための評価基準を確認したことで、目標が明確になりました。また数人の生徒に対して2人以上の先生がつくという恵まれた時間を大切にしていきたいと感じました。3月からの3か月近い休校のせいで、ずいぶんスタートが遅れてしまいましたが、それぞれのゼミで課題設定に向けて活発な議論を重ねています。7月初旬には、富山大学の先生方による課題研究指導を予定しています。



3年SS発展探究βでも、残念なことにコロナ禍のせいで6月末に予定していた発表会が中止になり、楽しみにしていた英語での成果発表、討論、情報交換の機会がなくなりました。代わりに2年次の研究概要を分かりやすく英語で説明するレポート作成を行うことになりました。自分の研究を英語で表す機会ができて嬉しく思います。今まであまりやったことのない活動でもあり、オリエンテーション終了後、さっそくゼミごとに分かれて活動を始めました。発表会と同様に今後の糧になるように、慣れない英語の専門用語に悪戦苦闘しながらも、レポート作成に励んでいます。その後は、理科・数学の発展的内容を扱う活動を行う予定です。

英語の専門用語に悪戦苦闘しながらも、レポート作成に励んでいます。その後は、理科・数学の発展的内容を扱う活動を行う予定です。